

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	プログラミング		担当教員	出口 利憲		
学年学科	2 年 電気情報工学科		通年	必修	2 単位	
学習教育・目標 (E) 1 0 0 %						
授業の目標と期待される効果： C 言語のプログラミングを通じて，手続き型のプログラミングの基本的な概念を習得する。 (1) C 言語のプログラムを理解する (2) C 言語の簡単なプログラムが作成できる (3) 有用なアルゴリズムを理解する (4) データの表現方法を理解する (5) 実際にアルゴリズムやデータ表現を利用する (6) 実際にプログラムを作成し，実行する			成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 演習レポート 100 点 後期：中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 演習レポート 100 点 学年：定期試験 400 点 + 全演習レポートを 200 点に換算 得点率 (%) で成績をつける			
			達成度評価の基準： (1) C 言語のプログラムを読み，理解することができる (2) C 言語の簡単なプログラムを作成することができる (3) 授業で扱ったアルゴリズムを理解している (4) 授業で扱ったデータの表現方法を理解している (5) 実際にアルゴリズムやデータ表現を利用できる (6) 実際にプログラムを作成し，実行できる			
授業の進め方とアドバイス： 授業は板書を中心に行なうので，各自学習 ノートを充実させること。 必要に応じて演習を行なうので，積極的に行ない，レポートを作成すること。						
教科書および参考書： 新版明解 C 言語入門編 (柴田望洋, ソフトバンククリエイティブ) を教科書とする。						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：最も簡単な C プログラム						
第 2 回：画面表示						
第 3 回：整数の計算						
第 4 回：演習 (コンピュータの使い方，整数の計算)						
第 5 回：実数の計算						
第 6 回：数学関数						
第 7 回：演習 (整数・実数の計算)						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：繰り返し 1						
第 10 回：演習 (繰り返し 1)						
第 11 回：繰り返し 2						
第 12 回：演習 (繰り返し 2)						
第 13 回：キーボード入力						
第 14 回：条件分岐 1						
第 15 回：演習 (条件分岐)						
期末試験						
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)						

授業の概要と予定：後期
第 1 7 回：関数
第 1 8 回：引数の渡し
第 1 9 回：変数の種類
第 2 0 回：演習（関数）
第 2 1 回：構造体
第 2 2 回：構造体
第 2 3 回：演習（構造体）
第 2 4 回：中間試験
第 2 5 回：関数と構造体
第 2 6 回：演習（関数と構造体）
第 2 7 回：配列
第 2 8 回：多次元配列
第 2 9 回：演習（配列）
第 3 0 回：ソート
第 3 1 回：演習（ソート）
期末試験
第 3 2 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）